

注意喚起情報

米づくり技術情報 No.10

令和6年6月25日

茎数多い！直ちに中干しをして生育制御！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

6月25日現在の農業総合研究センター本所及び水田農業研究所の「はえぬき」の生育は、平年と比較して草丈は長く、**茎数、葉数は多く**、葉色は平年並み～やや濃くなっています。また、県内全域で、生育は進んでおり、茎数過剰となっている圃場が多く見られます。

予想されている暑い夏を乗り切るには、適正な生育量にコントロールすることが重要です。直ちに中干しに入りましょう！

「はえぬき」の生育（6月25日）

項目	農業総合研究センター			水田農業研究所			
	調査値	平年値	平年比・差	調査値	平年値	平年比・差	
草丈 (cm)	45.7	39.6	115 長い	47.7	42.3	113	長い
茎数 (本/m ²)	869	715	121 多い	774	632	122	多い
葉数 (枚)	9.6	8.9	+0.7 多い	10.0	9.2	+0.8	多い
葉色 (SPAD)	43.1	42.1	+1.0 やや濃い	41.8	42.1	-0.3	平年並み

【当面の技術対策】

- ◎ 圃場を確認し、有効茎数が確保された圃場から直ちに中干しに入る。
- ◎ 茎数が過剰な圃場では、強めの中干しを実施する。
- ◎ 茎数確保が遅れている圃場でも、穂肥前には中干しを終了できるように、遅くとも7月に入ったら中干しに入る。



効率的な水管理には作溝が不可欠です！

- ・ 今後の降雨の状況によっては、用水事情が悪化する可能性があります。
- ・ 必要最小限の量で圃場全体に水が行き渡るよう、作溝はしっかり掘りましょう。
- ・ 3か月予報では8月の気温は高くなる見込みです。高温による米の品質低下を抑える、登熟期の「飽水管理」にも作溝が必須です。

地域全体に用水が行き渡るように関係者でよく話し合い、用水を効率的に利用しましょう。

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をこまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！